

函館工業高等専門学校

教育目標・学科教育目標

周知度アンケート調査結果

平成22年10月

函館工業高等専門学校

点検評価委員会

## 1. 周知度アンケート調査と調査結果の概要

函館工業高等専門学校教育目標と学科教育目標の学生への周知度を調べるためにアンケート調査を実施した。調査対象は、本科第1学年から第3学年である。アンケート調査の実施期間は、平成22年6月28日から7月2日である。

アンケート調査での設問は、次の6項目となっている。

- 設問1. 本校の「函館高専教育目標A～F」を知っていますか？（教育目標の内容を全て憶えていなくても結構です）  
 設問2. 質問1で(1)知っている、と答えた方にお伺いします。この教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）  
 設問3. 皆さんが所属する学科の「学科教育目標」（裏面）を知っていますか？（教育目標の内容を全て憶えていなくても結構です）。  
 設問4. 質問3で(1)知っている、と答えた方にお伺いします。この教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）  
 設問5. 教員から、教育目標の内容に関する説明はありましたか？

設問1と2では教育目標の周知度と周知の手段を、設問3と4では学科目標の周知度と周知の手段を、また、設問5では教員から教育目標・学科目標の内容説明を受けたかどうかを調べている。

アンケート調査の集計結果の一部を表1に示す。アンケート対象学生659人(休学者は除く)に対して、回収率は97.6%となっている。調査の結果、函館高専教育目標の周知度(設問1)は全体で64.1%となっているが、1年次の周知度65.5%に比べて2年次では61.0%、3年次では66.0%と2年次の周知度が低くなっている。しかし、1年次でも中には周知度が37%と上学年と比べても極端に低いクラスもあった。また、学科教育目標の周知度(設問3)に関しては1年次が53.6%、2年次が40.7%なのに対して3年次は60.5%であった。設問5の学習・教育目標の説明の実施に関しては全学年平均がおおよそ85%以上であった。全体としては、今後、学科教育目標の周知度を上げ、理解させる取り組みが必要と考えられる。

なお、学年毎のアンケート結果の分析は次項以降に示している。

表1 集計結果(クラス別)

	回収率			設問1 函館高専教育目標の周知度				設問3 学科教育目標の周知度				設問5 学習・教育目標の説明の実施			
	クラス 人数	回収 数	回収率	(1) 知っている	(2) 知らない	(1) 知っている	(2) 知らない	(1) あった	(2) 無かった	(1) あった	(2) 無かった	(1) あった	(2) 無かった		
1M	43	43	100.0%	19	44.2%	24	55.8%	12	27.9%	31	72.1%	34	79.1%	8	18.6%
1E	40	40	100.0%	39	97.5%	1	2.5%	35	87.5%	5	12.5%	40	100.0%	0	0.0%
1J	47	47	100.0%	28	59.6%	19	40.4%	21	44.7%	26	55.3%	30	63.8%	17	36.2%
1C	46	46	100.0%	17	37.0%	27	58.7%	11	23.9%	33	71.7%	41	89.1%	5	10.9%
1Z	44	44	100.0%	41	93.2%	3	6.8%	39	88.6%	5	11.4%	44	100.0%	0	0.0%
1年次小計	220	220	100.0%	144	65.5%	74	33.6%	118	53.6%	100	45.5%	189	85.9%	30	13.6%
2M	49	48	98.0%	23	46.9%	25	52.1%	15	31.3%	33	68.8%	38	79.2%	10	20.8%
2E	42	42	100.0%	26	61.9%	16	38.1%	17	40.5%	25	59.5%	38	90.5%	4	9.5%
2J	41	41	100.0%	34	82.9%	7	17.1%	27	65.9%	14	34.1%	40	97.6%	1	2.4%
2C	46	45	97.8%	27	58.7%	18	40.0%	23	51.1%	22	48.9%	40	88.9%	4	8.9%
2Z	45	45	100.0%	26	57.8%	19	42.2%	8	17.8%	36	80.0%	36	80.0%	5	11.1%
2年次小計	223	221	99.1%	136	61.0%	85	38.5%	90	40.7%	130	58.8%	192	86.9%	24	10.9%
3M	46	36	78.3%	26	72.2%	10	27.8%	19	52.8%	17	47.2%	34	94.4%	2	5.6%
3E	44	41	93.2%	33	80.5%	8	19.5%	31	75.6%	10	24.4%	38	92.7%	2	4.9%
3J	45	42	93.3%	27	64.3%	15	35.7%	22	52.4%	20	47.6%	40	95.2%	2	4.8%
3C	41	41	100.0%	24	58.5%	17	41.5%	20	48.8%	21	51.2%	30	73.2%	8	19.5%
3Z	40	40	100.0%	22	55.0%	8	20.0%	29	72.5%	11	27.5%	39	97.5%	1	2.5%
3年小計	216	200	92.6%	132	66.0%	58	29.0%	121	60.5%	79	39.5%	181	90.5%	15	7.5%
合計	659	641	97.6%	412	64.1%	217	33.7%	329	51.3%	309	48.2%	562	87.1%	69	11.2%

## 2. アンケート結果の分析

■設問1 本校の「函館高専教育目標A～F」を知っていますか？（教育目標の内容を全て覚えていなくても結構です）

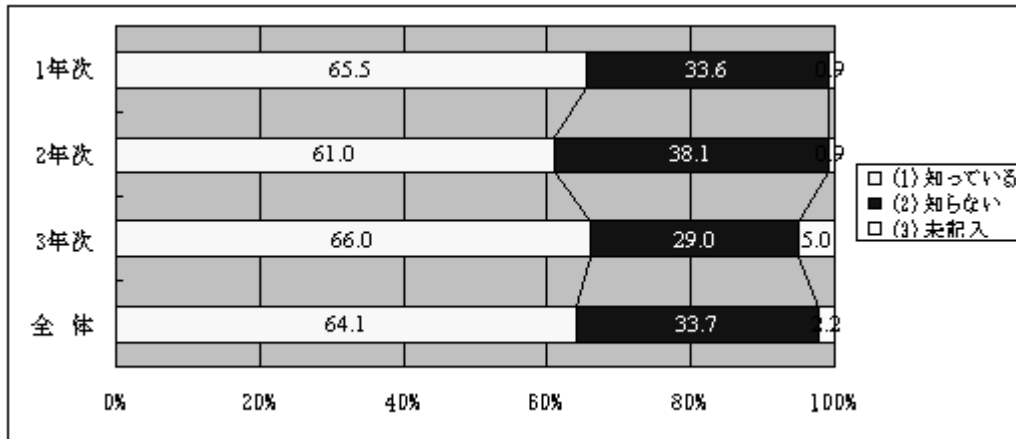


図1 設問1の集計結果

1年次と3年次の周知度がそれぞれ65.5%、66.0%であるのに対し、2年次の周知度が61.0%と低い。全体的に周知度は6割強にとどまっているため、今後、改善に向けて何らかの取り組みが必要である。

■設問2 質問1で(1)知っている、と答えた方にお伺いします。この教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）

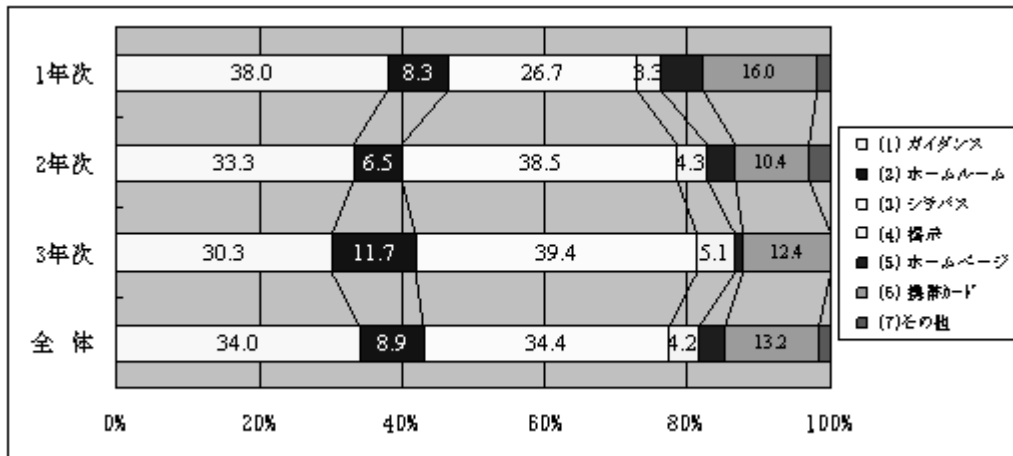


図2 設問2の集計結果

全体で見ると、(1) シラバス 34.4%、(2) ガイダンス 34.0% (3) 携帯カード 13.2%の順に多く、掲示やホームページはそれぞれ4.2%、3.6%と極めて低くなっている。携帯カードでの周知が1割を超えているのは携帯カードの配布は効果を示していると言えるだろう。また、(6) その他(1.6%)は、1年生に多く、「入試で聞いた」「パンフレットでみた」となっている。

■ 設問3 皆さんが所属する学科の「学科教育目標」(裏面)を知っていますか？(教育目標の

内容を全て憶えていなくても結構です)。

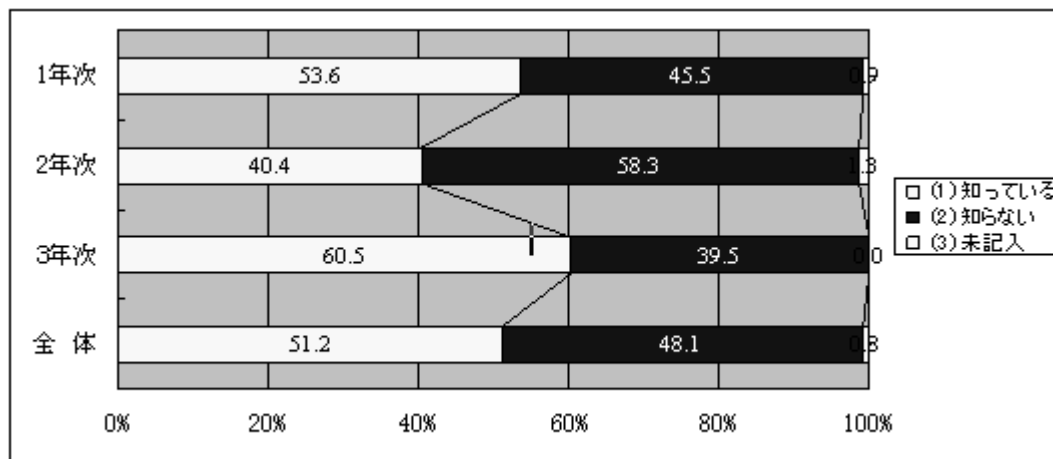


図3 設問3の集計結果

学科教育目標に関しては、1年次が53.6%、3年次が60.5%なのに対し、2年次が40.4%と半数を超える学生が学科教育目標を知らないという実態が明らかになった。学科の平均をとってみると、以下のようになった。

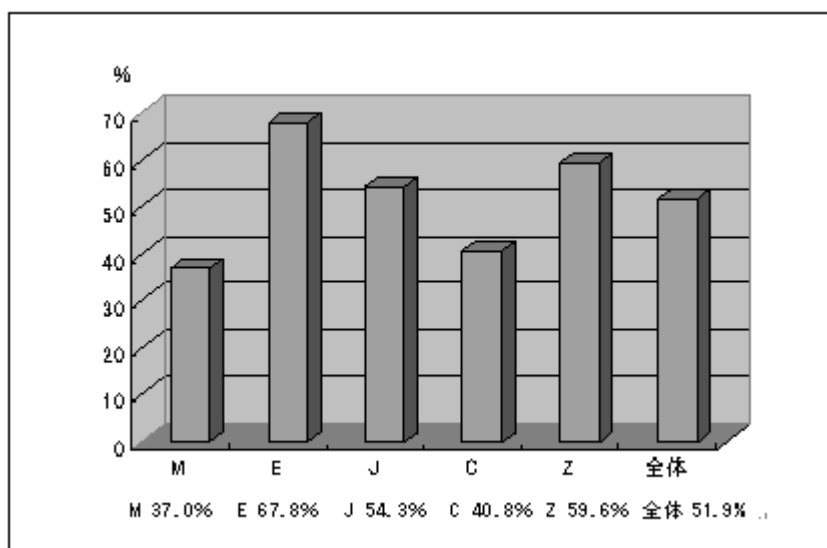


図4 学科別教育目標周知度結果平均

しかし、一方で、環境都市工学科は1年88.6%、3年72.5%なのに対して2年次が17.8%と極端に低く、学科ごとの差というよりは、クラスごとの差が大きいのではないかとと思われる。今後、改善に向けて、学科での取り組みと同様、各クラスにあわせた形での対策が必要であろう。

■ 設問4 質問3で(1)知っている、と答えた方にお伺いします。この学科教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）

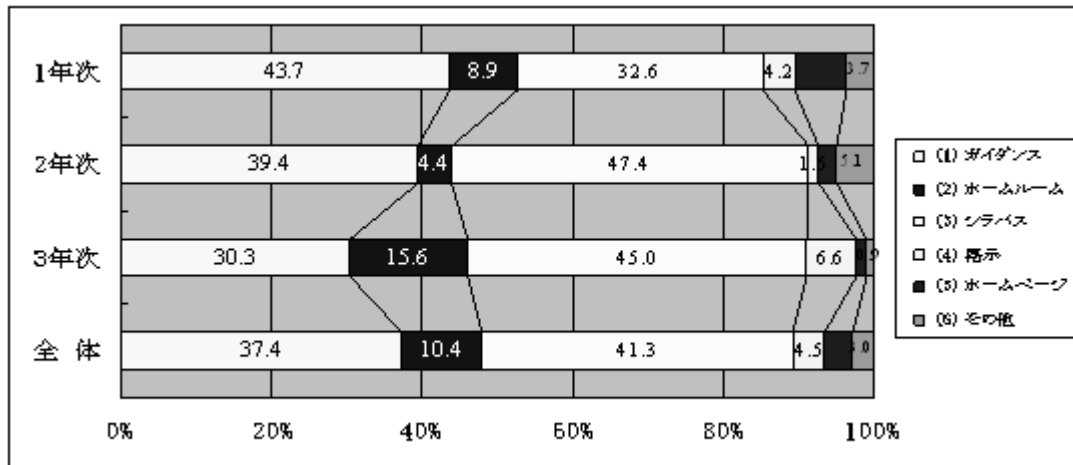


図5 設問4の集計結果

全体で見ると、(1) シラバス 41.3%、(2) ガイダンス 37.4% (3) ホームルーム 10.4%、の順に多く、学校教育目標と同様、掲示やホームページはそれぞれ極めて低くなっている。学校教育目標に比べ、ガイダンスとシラバスの差が開いている。（学校教育目標時の差 0.4 ポイント 学科教育目標時の差 3.9 ポイント）シラバスで知った学生の数の多くなっているのは、学期初頭の授業ガイダンスでも説明時に学科目標に照らした形の教科目標を説明するため、シラバスを見る機会が多いからかもしれない。また、(6) その他(3%)は、「授業中に先生から聞いた」「入試で聞いた」となっている。

■ 設問5 教員から、教育目標の内容に関する説明はありましたか？

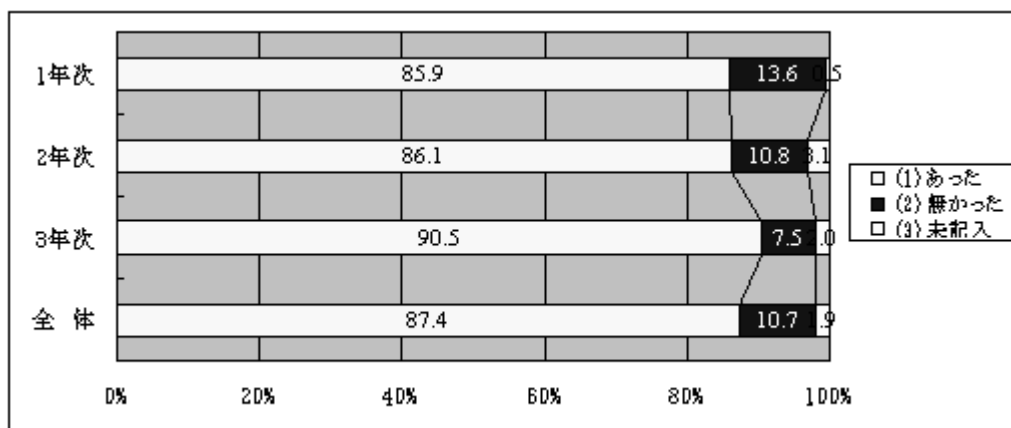


図5 設問5の集計結果

教員から函館高専教育目標・学科教育目標の内容に関する説明があったと答えた学生は全体で87.4%である。1年次では約85.9%、2年次で86.1%、3年次では90.5%が「説明があった」と回答しており、学年が上がるにつれてパーセンテージも上昇している。これは、入学時のガイダンスのみならず、学年毎に新学期にシラバス等で説明する機会があるためと思われ、今後もその継続が望ましい。